

令和6年度「ひょうごたいけんフェスティバル」事業報告

～兵庫県内の自然の家&自然学校が大集合！～

- 1 趣 旨 社会の要請に応える体験活動の推進を目的に、幅広い世代の地域住民を対象に自然体験や読書活動等に親しむ機会と場を提供するために地域の協力団体や関係機関と協働して実施する。
また、「体験の風をおこそう」運動と「早寝早起き朝ごはん」運動を連動させて効果的な普及啓発に取り組む。
- 2 主 催 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立淡路青少年交流の家
(企画・運営：兵庫県から「体験の風をおこそう」運動実行委員会)
※実行委員会の構成団体
明石市立少年自然の家
尼崎市立美方高原自然の家
加古川市立少年自然の家
神戸市立自然の家
国立淡路青少年交流の家
兵庫県立南但馬自然学校
兵庫県教育委員会事務局社会教育課
- 3 日 程 令和7年3月1日(土) 10:00～15:00
- 4 会 場 神戸市東遊園地 南側(神戸市中央区加納町6丁目1-1)
- 5 来場者数 1,370人(延べ来場者数)
- 6 後 援 神戸市教育委員会

7 内 容

(1) 体験活動・活動PRブース(実行委員会加盟団体のブース出展)

・明石市立少年自然の家

「木のキーホルダーづくり：木を使って、オリジナルのキーホルダーを作ろう！」



・尼崎市立美方高原自然の家

「とちのき村クラフトコーナー：間伐材で手づくりキーホルダー♪」



・加古川市立少年自然の家

「ウッドペイント体験：世界にひとつのキーホルダーを（ペンダント）を作ってみよう！」



・神戸市立自然の家

「松ぼっくりでお花屋さん：六甲山の松ぼっくりを使ってお花を作ろう！」



・国立淡路青少年交流の家

「ストーンペインティング：世界に一つの思い出の石を創ろう！」



- ・兵庫県立南但馬自然学校

「自然物クラフト「鉛筆づくり」：小枝を使って鉛筆を作ろう！」



- ・兵庫県教育委員会事務局社会教育課

「広報等協力、普及啓発資料配布」



(2) 関係機関ブース

- ・神戸地方気象台

「気象台防災展示ブース：気象や地震を学び、身を守る行動に役立てよう」



8 成果と課題

- ・今回は初めて神戸市内での事業実施となったが、兵庫県内の青少年教育施設や関係機関と連携して多様な体験の機会を提供することで、「子どもの健やかな成長に、体験がいかに大切か」を広く家庭や社会に伝え、「体験の風をおこそう」運動と「早寝早起き朝ごはん」運動を推進する気運を高める機会となった。
- ・当日は天候にも恵まれ、延べで 1,370 名の来場者があり、大変盛況であった。施設によって異なる出展内容となっており、参加者の満足度も高かった。
- ・体験することの面白さと地震や津波の防災知識について、多くの来場者に普及啓発するよい機会となった。
- ・リーフレット等を配布することで、兵庫県内の青少年教育施設について興味・関心をもってもらい良い機会となった。また、各施設・関係機関同士のネットワーク構築にも繋がった。